

2010年度

科目名	演習 I			
担当教員	浅尾 広良			
配当	日文3		コード	33110
開期	通年	講時	水曜日3限	単位数 4
授業テーマ	『源氏物語』桐壺巻を読む			
目的と概要	<p>前期は順番に『源氏物語』本文の輪読を行い、物語の読みの可能性を探ります。校異および注釈を丹念に検討して問題点をあらい出します。同時代の文献はもちろん、前後の資料をできる限り調査し、本文をどのように解釈し得るのかを考察します。</p> <p>後期は、前期の輪読を基礎として各自に研究発表を課します。質疑応答で議論を深め、推敲した原稿を後期の末にレポートとして提出してもらいます。レポートは400字詰め原稿用紙10枚以上(目標15枚以上)とします。なお、個人指導をより効果的に行うために、オンラインを利用しての随時質問を受け付けます。</p>			
成績評価法	当該科目の成績は、前期の輪読(25%)、後期の研究発表(25%)、レポート(40%)、出席・授業への取り組み姿勢(10%)の4項目から総合的に評価します。			
テキスト	『源氏物語』古典セレクション1(桐壺・帚木・空蝉・夕顔)／阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男／小学館			
参考書	授業時に適宜指示します。			
履修に当たっての注意・助言	マニュアル本に頼るのではなく、自分で問題意識をもち、調べ、展開し、まとめる努力をしましょう。どんなに稚拙な問題であれ、自分で問題意識をもつことが重要です。			
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション(授業の進め方、年間の計画、評価の方法等)</li> <li>2 源氏物語の諸本、古注釈に関する基礎知識</li> <li>3 輪読発表のサンプル(発表者 浅尾)</li> <li>4 発表者個人指導①</li> <li>5 発表者個人指導②</li> <li>6 発表者個人指導③</li> <li>7 発表者個人指導④</li> <li>8 発表者個人指導⑤</li> <li>9 輪読1発表・質疑応答・講評</li> <li>10 輪読2発表・質疑応答・講評</li> <li>11 輪読3発表・質疑応答・講評</li> <li>12 輪読4発表・質疑応答・講評</li> <li>13 輪読5発表・質疑応答・講評</li> <li>14 輪読6発表・質疑応答・講評</li> <li>15 輪読7発表・質疑応答・講評</li> <li>16 研究発表の仕方、まとめ方ガイダンス</li> <li>17 研究発表サンプル(発表者 浅尾)</li> <li>18 研究発表個人指導①</li> <li>19 研究発表個人指導②</li> <li>20 研究発表個人指導③</li> <li>21 研究発表個人指導④</li> <li>22 研究発表個人指導⑤</li> <li>23 研究発表1発表・質疑応答・講評</li> <li>24 研究発表2発表・質疑応答・講評</li> <li>25 研究発表3発表・質疑応答・講評</li> <li>26 研究発表4発表・質疑応答・講評</li> <li>27 研究発表5発表・質疑応答・講評</li> <li>28 研究発表6発表・質疑応答・講評</li> <li>29 研究発表7発表・質疑応答・講評</li> <li>30 まとめ 演習Ⅱ履修のためのガイダンス</li> </ol>				